

国分寺市行政手続オンライン化推進支援業務委託事業者選定に関する審査基準

1 趣旨

この審査基準は、国分寺市行政手続オンライン化推進支援業務委託に関する公募型プロポーザル実施要領」に基づき、優先交渉権者の選定が客観的に公平かつ厳正に行われるよう評価点の算出方法及び優先交渉権者の選定方法を定めるものである。

2 審査会

「国分寺市行政手続オンライン化推進支援業務委託事業者選定審査委員会設置要綱」にて定めた、「国分寺市行政手続オンライン化推進支援業務委託事業者選定審査委員会（以下、「審査会」という。）」が優先交渉権者選定の審査を行う。

3 審査方法

審査は、書類による第一次審査、そこで選出された上位3者以内のプレゼンテーション及びヒアリングによる第二次審査により行う。

なお、各評価項目（価格評価除く）については、下表のように6段階で評価し、傾斜配点により採点を行うものとする。

評価点数	評価基準	説明
5点	非常に優れている	当該要素について、評価できるもののうち、特にそれが顕著な水準である。
4点	優れている	当該要素について、評価できるもののうち、円滑に遂行できる水準である。
3点	標準的である	当該要素について、被評定者に要求したレベルをほぼ満たしており、特に支障のない水準である。
2点	やや劣っている	当該要素について、劣る部分や問題点があり、時には支障を来すおそれがある水準である。
1点	劣っている	当該要素について、劣る部分や問題点があり、頻繁に支障を来すおそれがある水準である。
0点	記載なしまたは要件未充足	-

4 第一次審査（最高得点 55 点）

(1) 審査の進め方

第一次審査は、会社の業務実績、提案書類及び見積価格について書類審査を行う。

(2) 審査の内容

①書類審査

事務局が以下の基準に基づき点数を算出し、審査会の承認を経て得点とする。

②評価項目・評価基準

本審査基準は別紙のとおり。

③採点方法

客観評価及び価格評価については、表 1 に基づき採点する。

表 1 第一次審査（書類審査）における評価項目等

評価項目		評価基準	配点	倍率
客観評価	契約実績	業務実績数は十分であるか。 ※提出書類：契約実績届出書（様式 6）	15	× 3
		業務管理者、業務担当者の業務経験は十分であるか。 ※提出書類：契約実績届出書（様式 6）	10	× 2
		基幹系システムに関する知識は十分であるか。 ※提出書類：契約実績届出書（様式 6）	5	× 1
	提案書類	提案書作成が実施要領の内容に沿って記述されているか。 ※提出書類：企画提案書	10	× 2
価格評価	提案見積額	本事業に係る見積価格 ※提出書類：見積書（様式 7）	15	× 3

(3) 第二次審査対象者の選出について

(2)①に基づき算出した得点の上位 3 者以内を第一次審査通過者とする。ただし、配点の 6 割以上の得点があることを条件とする。

(4) 3 位の得点である事業者が 2 者以上となった場合の取扱い

見積価格の低い順に選定し、見積価格も同額である場合は審査会の決定によるものとする。

5 第二次審査（最高得点 135 点）

(1) 審査の進め方

第二次審査は、審査会に対するプレゼンテーション（説明 30 分以内、ヒアリング 20 分以内）により行う。

(2) 審査を行う者

第二次審査は以下6名をもって行う。

- ①委員長（総務部長）
- ②副委員長（政策部長）
- ③委員（政策経営課長）
- ④委員（保険年金課長）
- ⑤委員（保育幼稚園課長）
- ⑥委員（子ども子育て支援課長）

(3) 審査の内容

①プレゼンテーション審査

プレゼンテーション審査については、以下の基準に基づき点数を算出し、得点とする。

②評価項目・評価基準

本審査基準は別紙のとおり。

③採点方法

内容評価については、表2に基づき採点する。

表2 第二次審査（プレゼンテーション審査）における評価項目等

評価項目			評価基準	配点	倍率
内容評価	プロジェクト計画	課題解決	本市の課題を解決するに当たり、最適な提案となっているか。	10	× 2
		プロジェクト管理（スケジュール）	適切な業務工程の提案となっているか。	15	× 3
	コンサルタント業務（業務分析）	業務分析（BPRの実施）	BPRの実施内容について、所管課の負荷が考慮された提案となっているか。	15	× 3
			BPRの実施内容について、円滑に進めることができるような提案となっているか。	15	× 3
		業務分析（BPRの効果）	BPRの効果検証について、その内容が効果的な提案となっているか。	15	× 3
	システム開発（管理）業務	開発管理	システム開発（作業）の管理方法について、具体的な提案となっているか。	10	× 2
		開発支援	システム開発（作業）のRFI作成支援について、具体的な提案となっているか。	10	× 2
		リリース支援	リリースに向けての支援について、所管課の作業負荷が考慮された提案となっているか。	10	× 2
	市民広報・研修業務	広報内容	市民向けの広報資料について、内容が分かりやすい提案となっているか。	10	× 2
		研修内容	市職員向けの研修について、具体的な提案となっているか。	10	× 2

内容評価	提案	プレゼンテーション (提案の効果)	プレゼンテーションの内容が 理解しやすい進め方となっ ているか。	15	× 3
------	----	----------------------	--	----	-----

(4) 優先交渉権者及び次席者の選出について

(3)①に基づき算出した第一次審査及び第二次審査の合計得点の最も高い者を優先交渉権者として選定し、次点の判定をした者を次席者として選定する。ただし、優先交渉権者及び次席者ともに第一次審査及び第二次審査について、配点の6割以上の得点があることを条件とする。

6 全体の点数配分と決定方法

(1) 全体の点数配分

審査区分	評価項目	配点
第一次審査	客観評価	40
	価格評価	15
	小計	55
第二次審査	内容評価	135
	小計	135
合計		190

(2) 総合得点において、同点により1者を選定できない場合の取扱い

総合得点が同点である参加者が2者以上となった場合は、見積価格の低い順に選定し、見積価格も同額である場合は審査会の決定によるものとする。

(3) 優先交渉権者の選定方法

第一次審査及び第二次審査の合計得点の最も高い者を優先交渉権者として選定し、次点の判定をした者を次席者として選定する。ただし、優先交渉権者及び次席者ともに第一次審査及び第二次審査について、配点の6割以上の得点があることを条件とする。

7 その他

本プロポーザル終了後に仕様書等の要件を満たすことができないことが判明した場合には契約締結を行わないものとし、次席者と契約締結の交渉を行う。